

報告書作成ソフト 簡易取扱説明

熱画像と可視画像を加工し，PDF ファイルに出力します。

2025.12.25

ダウンロードした報告書作成ソフトは，

C ドライブの直下（最上位）に「IRReportTool202512」フォルダごと設置してください。

他の場所に設置する場合は，作成報告書の“保存設定”を変更する必要があります。

作成報告書の“保存設定”は「アプリケーション」→「レベル X」内の「setting.json」で変更できます。

現在は，C ドライブ内，「IRReportTool202512」→「save」に保存されるよう設定しています。

メモ帳等で開き，1 行目の「SaveFolderPath」を適宜修正ください。

【報告書作成ソフト動作環境】

OS : Windows 10 又は 11 (.NET Framework 4.6.1)

CPU : Intel Core i5 以上

メモリ : 4GB 以上

モニタ : 15.6 以上

ファイル容量 : 22.2MB

必須アプリケーション : なし

1. 報告書作成ソフト簡易取扱説明

1. 報告書作成ソフトの起動

「IRReportTool202512」フォルダ内「報告書作成ソフト」ショートカットをダブルクリックする。
(受験者情報入力画面が立ち上がります)

2. 受験者情報の入力

必要な情報を入力した後, 「レポート作成開始」をクリックする。

3-1. レポートの作成（課題1の熱画像・可視画像の読み込み）

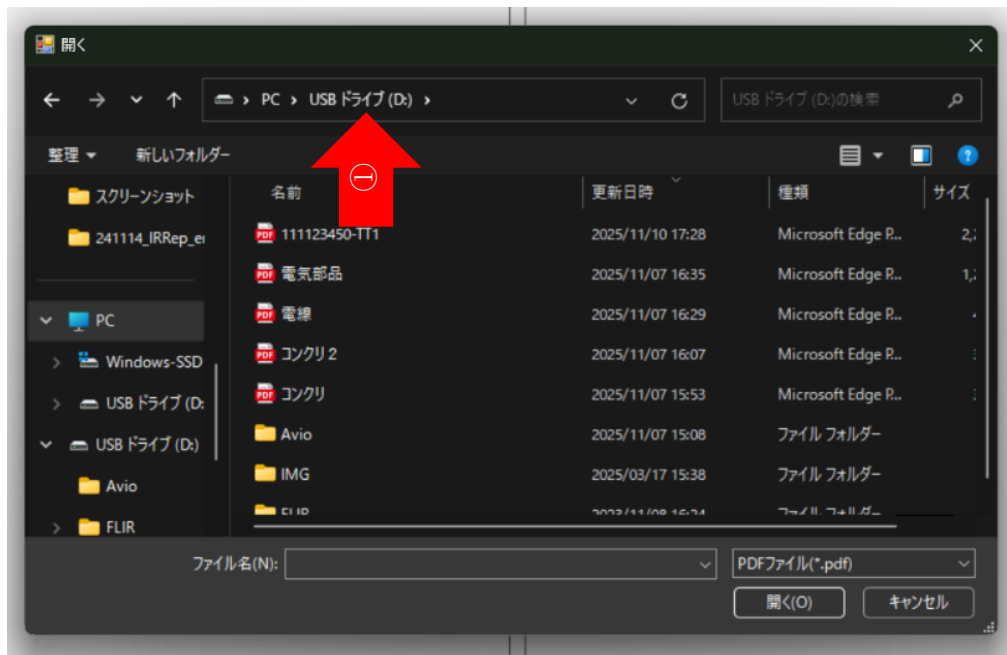
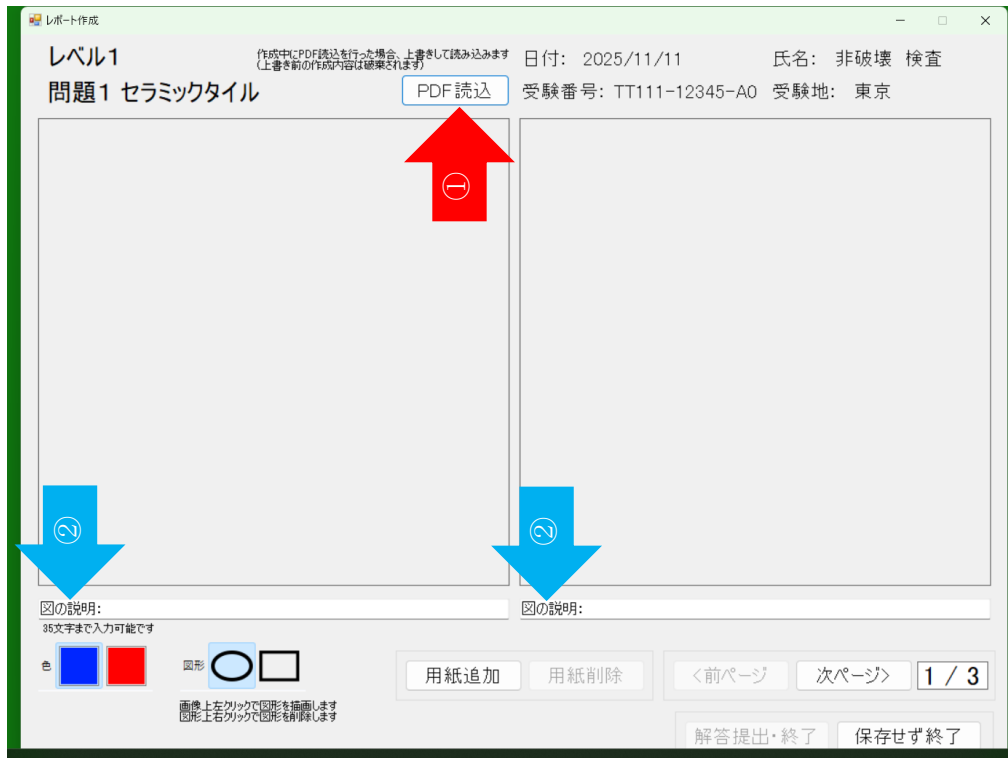
上部に表示されているレベルおよび問題種類，受験者情報を確認の後，

① 「PDF 読込」（**赤色矢印①**）をクリックし，先に作成した対象の PDF ファイルを読み込みます。

（PDF ファイルは，通常，メモリカード（PC > USB ドライブ）に保存されています）

熱画像入力欄（左枠）に熱画像が，可視画像入力欄（右枠）に可視画像が表示されます。

熱画像が表示されている状態で「PDF 読込」を再クリックすると，現表示の PDF ファイルを破棄し，新しい PDF ファイルが読み込まれます。読み込む PDF ファイルを間違えた場合などにご利用ください。



②画像下の説明欄（**青色矢印②**）は，自由記入欄です。「熱画像」「可視画像」の別のほか，「加熱前熱画像」「別角度の熱画像」「全体撮影図」「拡大撮影図」など画像の説明に利用ください。ただし最大 35 文字まで。（熱画像と可視画像が左右逆に誤表示された場合もその旨を記入ください）

3-2. レポートの作成（温度異状部の指摘）

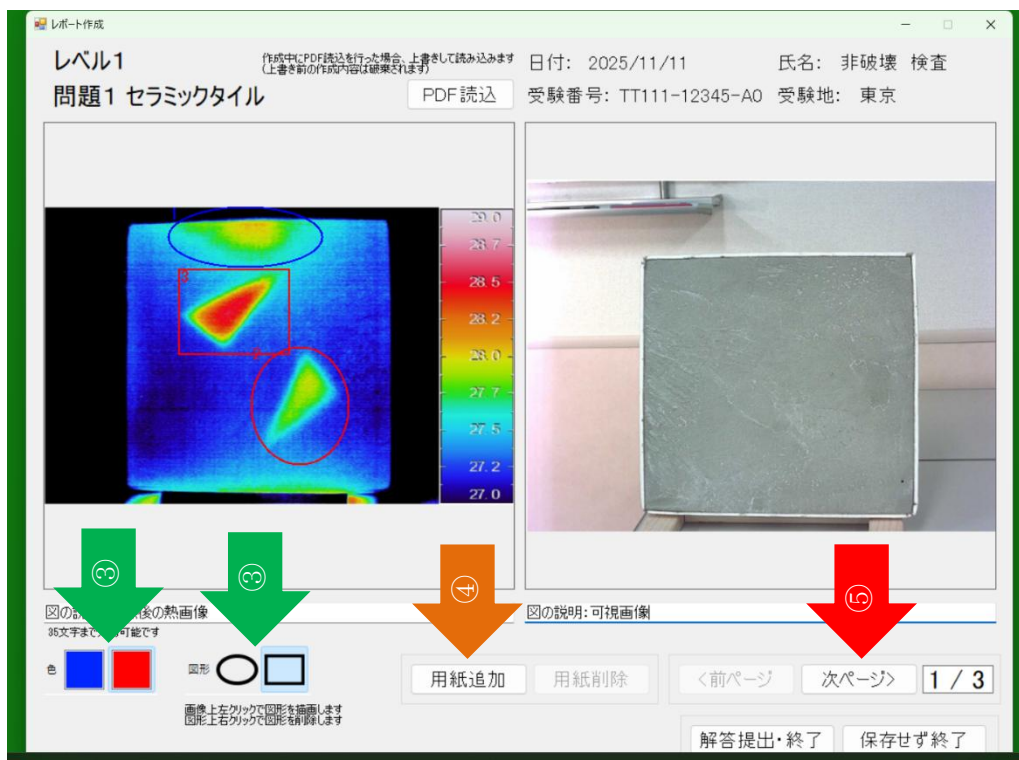
③指示書等の指示に従い、各画像の温度異状部（ホットスポット）等を○印 or □印で指摘します。

- ・図形の追加：色および図形形状○□を選択（**緑色矢印③**）し、画面上で左クリックします。
- ・図形の移動：描画された図形上でドラッグ（左クリックを押下しながらスライド）します。
- ・図形の選択：描画された図形上で左クリックします。（図形の周囲に小さな■が表示されます）
- ・サイズ変更：各図形を選択した状態から、小さな■をドラッグすると、サイズを変更できます。
- ・色の変更：各図形を選択した状態から、希望の色ボタンをクリックします。
- ・図形の削除：各図形上部で右クリックします。

④同じ課題で別の熱画像・可視画像を追加する場合は「用紙追加」（**橙色矢印④**）をクリックします。

一つの課題で複数画像になった場合は、画像入力枠下の説明欄に説明を記入してください。

（手書き用紙に説明を記入でも可）



4. 次の課題へ移動

次の課題に進む場合は、「次ページ」（**赤色矢印⑤**）をクリックしてください。

問題の種類を確認した後、課題1と同様の作業を繰り返します。

「前ページ」「次ページ」をクリックすることで、別の課題に移動し、再作業をすることが可能です。

5. 解答提出・終了

全課題の作業が終了したら、「解答提出・終了」（**青色矢印⑥**）をクリックします。

レポートファイル PDF が、「C ドライブ」→「IRReportTool202512」→「save」に保存されます。

（ファイル名は、＜受験番号＋受験種別.pdf＞です。）

確認ダイアログの指示に従い終了してください。